

ぱびるす

文化公園アートフェスティバル2012が行われました！

7月27日から29日にかけて、市民文化公園で「文化公園アートフェスティバル2012」が開催されました。中央図書館でも3つのイベントが開催され、たくさんの方にご来場いただき、大盛況となりました。

7月27日 カルチャーナイト 朗読とギターの夕べ



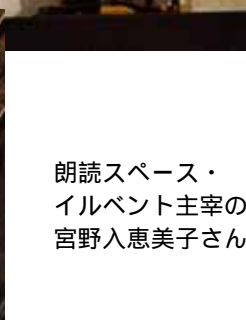
ギター演奏と朗読のコラボレーション



クラシックギタリストの竹形 貴之さん



苫小牧などで活躍する詩人 森 れいさん



朗読スペース・イベント主宰の宮野入恵美子さん



7月27日はカルチャーナイト・朗読とギターの夕べが行われました。ギター演奏を昨年に引き続き竹形 貴之さんに、朗読を森 れいさんと宮野入恵美子さんをお願いしました。会場には80人が来館しギターの音色と朗読に聞き入っていました。

7月28日 青空こどもとしゃかん



よく晴れた空の下、約120人のお子さんや親子連れの方がつめかけました。

図書館の読み聞かせボランティアの皆さんと図書館職員による大型絵本の読み聞かせやペープサート・手遊び・紙芝居の熱演を楽しみ、笑顔でいっぱいイベントとなりました。

29日の本のぱくりっこ市の様子は8ページに掲載しています

お知らせ

10月22日～31日は蔵書点検・システム更新のため休館日となります。

新着図書(一般書)

お役立ち本

- 『映像の著作権』 二瓶 和紀/著 太田出版
- 『今日から歌人!』 江戸 雪/著 すばる舎リンケージ
- 『研究費が増やせるメディア活用術』 山本 佳世子/著 丸善出版
- 『元気がでる就学援助の本』 かもがわ出版
- 『子どもと一緒に楽しめるおとなの市場見学』 徳間書店
- 『JR利用術』 富田 康裕/編著 自由国民社
- 『施設心理士という仕事』 加藤 尚子/編著 ミネルヴァ書房
- 『資格試験「通勤電車」勉強法』 浜野 秀雄/著 日本実業出版社
- 『自然の力で夏をのりきる暮らし術』 農山漁村文化協会
- 『自由すぎるオリンピック観戦術』 フモフモ編集長/著 ぱる出版
- 『地域公務員になろう』 日本都市センター/編集 ぎょうせい
- 『ハンドメイド・パーティー』 田中 ハンナ/著 ソバカス・ブックス
- 『秘密基地の作り方』 尾方 孝弘/著 飛鳥新社
- 『ポールで歩こう』 藤田 隆明/著 北海道新聞社
- 『休みのとれるNPOの働き方』 神戸新聞総合出版センター

海外文学

- 『愛を知らなかった子』 ダイアン・リー・ロウ/著 講談社
- 『エラリー・クイーンの災難』 エドワード・D.ホック/(ほか)著 論創社
- 『シューティング・スター』 ピーター・テンブル/著 柏艚舎
- 『世界を売った男』 陳 浩基/著 文芸春秋
- 『プラハ冗談党レポート』 ヤロスラフ・ハシク/著 トランスビュー
- 『ぼくが逝った日』 ミシェル・ロスタン/著 白水社
- 『ワールズ・エンド』 マーク・チャドボーン/著 国書刊行会

日本文学

- 『エリートの転身』 高杉 良/著 光文社
- 『きみはいい子』 中脇 初枝/著 ポプラ社
- 『惜樂荘だより』 佐伯 泰英/著 岩波書店
- 『ゼロ!』 片野 ゆか/著 集英社
- 『尋ね人』 谷村 志穂/著 新潮社
- 『月と雷』 角田 光代/著 中央公論新社
- 『鉄のあけぼの』 上下巻 黒木 亮/著 毎日新聞社
- 『盗作の報酬』 三浦 明博/著 講談社
- 『特殊清掃』 特掃隊長/(著) ディスカヴァー・トゥエンティワン
- 『七夜物語』 上下巻 川上 弘美/著 朝日新聞出版
- 『なみだふるはな』 石牟礼 道子/著 河出書房新社
- 『二十五の瞳』 樋口 毅宏/著 文芸春秋
- 『働きたくない者は、食べてはならない』 曾野 綾子/著 ワック
- 『夢より短い旅の果て』 柴田 よしき/著 角川書店
- 『夜の国のクーパー』 伊坂 幸太郎/著 東京創元社

歴史・時代小説

- 『応仁秘譚抄』 岡田 秀文/著 光文社
- 『奥伝夢千鳥』 門田 泰明/著 光文社
- 『かけおちる』 青山 文平/著 文芸春秋
- 『清須会議』 三谷 幸喜/著 幻冬舎
- 『花宴』 あさの あつこ/著 朝日新聞出版
- 『叛鬼』 伊東 潤/著 講談社
- 『日御子』 帚木 蓬生/著 講談社



「知れば知るほどもしろい
琉球王朝のすべて」
亭納 大作/著
上里 隆史/著
河出書房新社

沖縄にどこことなく異国情緒を感じたら、それは琉球王朝の影響かもしれません。詳しく知りたいときには、ドラマの時代考証を努めた著者によるこちらの本がおおすすめです。



『エコハウスのウケ』
前 真之/著
日経BP社

サブタイトルは『27の誤解と1つのヒント』。自分が考えているエコハウスが本当に環境のため効果的なのか分析するために、こんな反論文献を手にとってみるのはいかがでしょうか。



『写真、撮られ術。』
永田 昌徳/著
講談社

とても珍しい、写真の『撮られ方』の本。この一冊があれば、免許や履歴書の証明写真に納得がいかない……そんなことがなくなるかも? かもしれません。



『やりたいことは二度寝だけ』
津村 記久子/著
講談社

とても魅力的なタイトルに惹かれて手に取れば、著者は芥川賞作家の津村記久子さん。文学賞作家がとても身近に感じられてしまう、そんなエッセイです。

本の情報・話題の本

図書館に住む本の話

今回のテーマ：上手に伝える文章の書き方

くらしの中で、話し方と同じぐらい大切な文章。家族や友人へのメールや職場での報告など、もう少し上手に伝えたいかと思ったら『文章は「書く前」に8割決まる』『文は一行目から書かなくていい』などを読んで、新しい方法を試してみよう。これらの本は流石というべきか、人を惹きつけるタイトルが多いのが特徴です。

文章の書き方本は、請求記号816にたくさん揃っております。場所がわからない場合には職員までお尋ねください。



予約本ランキング



「ナミヤ雑貨店の奇蹟」 東野圭吾(111)

2 『舟を編む』 三浦しをん(102)

3 『人生がときめく片づけの魔法』 近藤麻理恵(78)

4 『マスカレード・ホテル』 東野圭吾 (74)

5 『三匹のおっさんふたたび』 有川浩 (68)

* 『境遇』 湊かなえ(62)

* 『サファイア』 湊かなえ(59)

* 『ジェノサイド』 高野和明(52)

* 『紙の月』 角田光代(47)

* 『マザーズ』 角田光代(46)

7月19日現在

直木賞・芥川賞作品(2012上半期)

冥土めぐり

鹿島田 真希 / 著 河出書房新社

その他候補作)

『ひっ』 戌井昭人 / 著

『河童日誌』 鈴木善徳 / 著

『短篇五芒星』

舞城王太郎 / 著 講談社

『ギッチョン』 山下澄人 / 著

書籍化されていない作品は雑誌で閲覧が可能です。ご相談ください。



芥川賞

鍵のない夢を見る

辻村 深月 / 著 文芸春秋社

その他候補作)

『もういちど生まれる』

朝井リョウ / 著 幻冬舎

『新月譚』 貫井徳郎 / 著 文芸春秋

『楽園のカンパス』

原田 マハ / 著 新潮社

『盤上の夜』

宮内悠介 / 著 東京創元社



直木賞

シェフやレストラン、タレントの名前がついた料理本は数あれど、企業名を打ち出したものってあまりお見かけしなかったような...

そう、『体脂肪計タニタの社員食堂』です。続編も出版され、レストランをオープンするほどの盛り上がりぶり。

そんなタニタに続け！とばかり、企業レシピ本(?)の出版ラッシュです。

予算の都合上あれもこれもとはいきませんが、図書館にもいくつか所蔵していますので、その中からご紹介を。

まずは社員食堂部門。『再春館製菓所ニッポンいちの社員食堂』『世界をつなぐあこがれ企業の社員食堂レシピ』。ふだん利用する機会がない社食。どんなメニューが気になります。

次に学校部門。栄養大学というだけで、バランスがよく低カロリーな気がする『女子栄養大学の毎日おかず』『女子栄養大学の手作りスイーツ』『女子栄養大学のダイエットクリニック』。“おかず+スイーツ+ダイエット”の3点セットで至れり尽くせり。

そして「北海道新聞」に連載されていた『光塩学園のおいしい・かんたん』『宮島学園のおいしい・かんたん』。せっかくですので、地元食材を使っては。

最後に、誰もが知っているおなじみの商品を使ったレシピ本。

『永谷園のお茶づけ海苔でおもてなし』あの「お茶づけ海苔」でフルコース料理も？

『カルピス社員のとっておきレシピ』飲むだけでなく料理にも。さらにカルピス豆知識もget！『森永製菓のおやつにしましょ』

ホットケーキミックスやお菓子を使ったレシピを紹介。手軽なものばかりなので、お子さんと一緒に。

番外編として『味の素コンビニめし研究所の世界一簡単レシピ』。コンビニ商品で作れるところがポイントかも。まあ、作るというより“かける・まぜる・のせる”ですげどね...

左)女子栄養大学の毎日おかず

女子栄養大学出版部
右)永谷園のお茶づけ海苔でおもてなし
古寺 ななえ / 著
東京：ぶんか社



図書館員の読書日記
今回は「HJ」の日記です

こどもの本のページ



「三びきのコブタのほんとうの話」
 シェスカ ジョン / 文
 レイン・スミス / 絵
 岩波書店 Eサ



「ヒヤシンスひめ」
 フローレンス・バリー・ハイド / 文
 レイン・スミス / 絵
 光村教育図書 Eヒ



「イカはいかようにしてもイカだ」
 シェスカ ジョン / 文
 レイン・スミス / 絵
 ほるぷ出版 Eイ

今月のイチオシ作家

レイン・スミスさん



「グランパ・グリーン の庭」
 レイン・スミス / 作
 BL出版 Eク

1983年、カリフォルニアの美術大学を卒業。絵本作家、イラストレーターとして多方面で活躍。
 『くさいくさいチーズぼうや&たくさんのおとぼけ話』（ほるぷ出版）でコールデコット賞を受賞。
 （『グランパ・グリーン の庭』カバーより）



「ジャイアントピーチ」
 ダール ロアルド / 原作
 レイン・スミス / 絵
 ケアリー・カークパトリック / 文
 評論社 Eジ



「これは本」
 レイン・スミス / 作
 BL出版 Eコ



「くさいくさいチーズぼうや & たくさんのおとぼけ話」
 シェスカ ジョン / 文
 レイン・スミス / 絵
 ほるぷ出版 Eク

あたらしい本

6・7月に届いた本から
ピックアップ♪

「むしコレ」 Eム
accototo / 作・絵
イースト・プレス

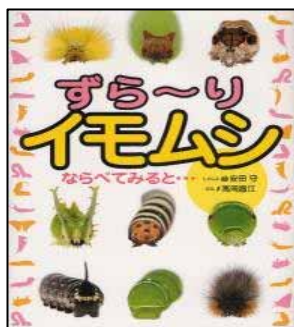
知ってる虫、何匹いるかな？赤い虫、緑色の虫、派手な虫、大きい虫、小さい虫…。いろいろな仲間分けをした虫を、カラフルなイラストで紹介する。



「ずら～リイモムシ
ならべてみると…」 48ス

高岡 昌江 / ぶん
安田 守 / しゃしん
アリス館

とげとげ、しましま、つるんつるん…。アゲハからオオムラサキまで、18種のイモムシたちが、いろんな姿でずら～り登場。脱皮してチョウやガになるまでや、卵の様子も紹介する。



読み聞かせ 資料のご案内

大型絵本 大型紙芝居
絵本・紙芝居のビッグサイズ
大型絵本スタンド / イーゼル
一人で読み聞かせる時に
紙芝居枠・大型紙芝居枠
幕、扉つき、枠だけのものなど色々
エプロンシアター
昔話からなぞなぞまでいろいろなお話が
ひょうしぎ
呼びこみ以外でもアイデア次第で

中央図書館4番カウンターにあります。
(大型絵本は一部児童コーナー紙芝居棚にもあります)リストもありますのでご自由におもちください。
貸出・返却は中央図書館カウンターでお願いします。
読み聞かせ日にあわせて予約できます。
お気軽にご相談ください。

ご利用
おまちして
ま～す!!



よみきかせ会

会場 おはなしコーナー
定員 40名

苦小牧子どもの本の会
(第1・第3日曜日)
8月19日
9月2日・9月16日
午後3時～3時30分

にじのはし
(第2土曜日)
8月11日・9月8日
午後11時～11時30分
(第4土曜日)
8月25日・9月22日
午前11時～11時30分
午後2時～2時30分

ストーリーテリング おはなし会

会場 おはなしコーナー
定員 40名

おはなしオルゴール
(第3土曜日)
8月18日・9月15日
午後2時～2時30分

かみしばい 紙芝居

会場 サンガーデン
定員 40名

かみしばいおじさん
(第2土曜日)
8月11日・9月8日
午後2時～2時30分

ていきてき ぎょうじ 定期的な行事の おしらせ

めいさく じょうえいかい 名作アニメビデオ上映会

会場 2階講堂
定員 70名

いひきわむらかずおさんの
14ひきシリーズ、わたなべゆ
ういちさんのねござかなシリー
ズなどのビデオを上映します。

(第2・第4日曜日)
8月12日・8月26日
9月9日・9月23日
午後2時30分～3時

郷土・参考資料室からのお知らせ

古い資料を読みたい

図書館には、苫小牧や北海道に関する古い資料があります。これらの中には毛筆による手書きのものもあり、その多くがくずし字（略字や草書など）で書かれているため、現代人にとっては非常に読みにくいものです。これらを読むために参考となる資料やその学び方をご紹介します。

入門書を活用

くずし字に馴れるためには、まず入門書を読んでみましょう。1階フロアーの請求記号210.02の棚を見てみると、古文書を用いて文字の読み方を解説した本が多数あります。また、文字や語句を調べる為の辞典・事典（『音訓引古文書大字叢』（210.02/オ）、『くずし字解読辞典』（728.4/ク）など）が当資料室にありますので、これらをあわせて活用するとよいでしょう。

活字で読みたい

くずし字にはどうも抵抗が...、という人には翻刻（ホコク）本がお薦めです。これは、くずし字を活字に置き換え出版したもので、内容の読み取りが容易になります。ただし、数多くある資料の中で、翻刻されているものは限られています。お探しの資料に翻刻本があるかどうかは、司書にお尋ねください。

プロに習う

北海道立文書館等の主催で開催される古文書講座に参加し、プロから学ぶという方法もあります。この場合は一人で学ぶよりも、疑問点を講師に直接聞くことができるので理解度も高いでしょう。ただし、希望の講座の開催地が苫小牧とは限りません。

インターネットを活用

読み方のコツがわかっていくにつれ、当館所蔵のものだけでは満足いかなくなる日がやってくるかもしれません。そのときは、インターネットを活用しましょう。最近では多くの図書館や文書館で古い資料のデジタル化と公開を進めています。以下にご紹介するホームページでは、資料を検索し、データ化された画像があれば、それを見ることができます。ぜひ役立ててください。

～資料のデジタル画像を公開しているHP～

北海道立図書館デジタルライブラリー

<http://www3.library.pref.hokkaido.jp/digitallibrary/>

北海道大学図書館北方資料室北方関係史料総合目録

<http://www.lib.hokudai.ac.jp/hoppodb/>

国立国会図書館近代デジタルライブラリー

<http://kindai.ndl.go.jp/>

以上、簡単ですが古い資料の読み方・学び方についてご紹介しました。当館では司書が資料の読み方などについて、直接回答することはできませんが、調査・研究に必要な参考資料を探すお手伝いをいたしますので、気軽にお声掛けください。（司書：西保）

新着図書を紹介

今回は参考図書の紹介です

『古語大鑑 第1巻』（813.6/コ/1）
東京大学出版会・刊



古典語の基本となる語彙約4万語を収録した古語辞典。語の意味、語源、用例も示し、ボリュームたっぷり。第1巻には「あ」から「お」までを掲載。今後5年かけて、全4巻出版される予定。

『全国映画ドラマロケ地事典』

(778.0/セ)
日外アソシエーツ・刊



1990年代後半以降の映画・ドラマ467作品とそのロケ地約1万件を収録。地域別一覧と作品別一覧の2部構成になっているので、目的のロケ地や映画が探しやすい。

個人的には苫小牧の項に「のぼうの城」が入っていないのが、少し残念。



これらの本は2階参考資料室で見ることができます。

参考図書室・郷土資料室の
ご利用に際して



かばん等の持ち込みはできません。手荷物をロッカーにお預けの上、筆記用具類のみをお持ちになってお入りください。

資料室には自習のための席はありません。自習する方は、2階電子情報サロン隣の『自習室』をご利用願います。

ふるさとの一片(54)

～郷土資料コーナーで見つけた～

苦小牧に電気が来て百年

東洋一の工場はナツソウの滝から



王子製紙新工場建設の決め手となった千歳川上流のナツソウの滝(明治42年)

脱原発は「脱電気」か

この七月、関西電力大飯原発三号機に続いて四号機が再稼働されました。この問題に対して四月から毎週金曜日に首相官邸前で行われてきた抗議行動への参加者は増え続け、全国各地に波及し、連日大きく報道されています。

政府の反応はというと脱力的で、二十万人(主催者発表)が参加した六月二十九日のデモに対する、「大きな音だね」の野田首相発言は多くの反感を買い、抗議行動に油を注ぐ結果となり、七月二十日のデモには、政権与党内の鳩山由紀夫元首相も参加するという異常事態?となりました。七月十六日には、ノーベル賞作家の大江健三郎らが呼びかけた脱原発集会「さようなら原発一千万人アクション」が代々木公園で開かれました。約十七万人(主催者発表)が全国から集まり、音楽家の坂本龍一の挨拶「たかが電気のためになんで命を危険にさらさないといけないのでしょうか」から始まりました。確かにそのとおりです。しかし、「たかが電気」という発言には少々違和感を覚えます。「脱原発」はイコール「脱電気」ではないでしょう。これほど大規模なデモが可能になったのはツイッターやフェイスブック等を利用して瞬

時に集会の日時、場所などの情報交換ができるようになったからです。これらは電気を必要とするインターネットの伝言板、掲示板に他なりません。

大瀑布ナツソウの滝

明治初頭の北海道にはまだ電気はなく『北海道電気事業史』によると電気の供給開始第一号は札幌電燈舎の明治二十四年(一八九一)でした。その四年後には小樽、函館と拡大されていきます。苦小牧は明治四十三年(一九一〇)九月の王子製紙工場操業により工場と社宅に、翌年、苦小牧村に電気が供給されます。王子製紙からの贈り物として明治四十四年(一九一一)に

苦小牧村にもたらされた電気の恩恵は筆舌に尽くしがたいものがありました。王子製紙が北海道に進出する際、念頭に置いたのは電気の安定供給でした。つまり、潤沢な水力発電が可能な地形が第一条件だったのです。あたりまえのことですが、東洋一の苦小牧工場も電気がなければ操業はできなかったのです。

明治三十七年(一九〇四)に苦小牧工場の進出に携わった鈴木梅四郎王子製紙専務(当時)一行七、八人は北海道に渡り各地の新工場候補地を踏査します。釧路、屈斜路湖、阿寒湖付近を

調査後、千歳村から支笏湖に行き着きます。そこで鈴木等は千歳川の上流に位置する水力電気供給に最適な大瀑布ナツソウの滝を目にし、製紙工場を建設する理想の地であることを確認します。その後、直ちに同地の水利権取得の申請書を北海道長官に提出しました。このことは「苦小牧工場の発祥は実に北海道胆振国千歳郡烏柵舞村所在の支笏湖水利権獲得に成功したことに起因する」と『苦小牧工場建設の思出』にも記されています。

建設された千歳川第一水力発電所は前述のとおり明治四十三年に苦小牧工場に送電が開始され現在に至り、わが国最古の産業用現役水力発電所として平成十九年(二〇〇七)には経済産業省の近代化産業遺産に認定されます。水が高いところから下へ落ちるときの力を利用して電気をつくるのが水力発電です。この単純にして、事故の際には原発とは比較にならないほど安全な発電所が苦小牧村に送電を開始してから、ちょうど百年後の平成二十三年(二〇一一)に福島原発事故が起きました。(大泉)

引用・参考文献

『北海道電気事業史』一九七八
『苦小牧工場建設の思出』一九四九

7月29日 本のばくりっこ市

「本のばくりっこ市」は不要な本をご持参頂き、図書館が持っている交換用の本と同じ冊数だけ交換できるイベントです。開始直後の10時には受付に列ができるほどの大混雑。列がなくなっても交換希望の方が途切れることも無く14時に無事終了いたしました。最終的に140人以上の方と1300冊以上の本を“ばくりっこ”することができました。



行事のお知らせ

赤ちゃんとお楽しむ はじめての絵本のひろば

平成24年10月開催分(予定)
内容 赤ちゃんとお絵本の出会いを目的とし、赤ちゃんとお絵本の接し方の実践と指導、絵本の紹介、読書相談などを行う
日時 平成24年10月19日(金)
 10:30~11:30
会場 中央図書館2階 講堂
定員 15組(キャンセル待ち3組まで)

対象 1歳児とその保護者
申込 10月4日(木)~10日(水)開館時間内
 中央図書館カウンター または
 電話 35-0511
 定員を超えた場合は10月11日(木)に抽選(はじめての方優先)
連絡方法 申込みしていただいた全ての方へ
 10月11日(木)に電話で連絡いたします。

寄付・寄贈ありがとうございました。(平成24年5月21日~平成24年7月20日)
 個人 142件 1,383冊 団体 50件 69冊

展示コーナー 今後の予定	閲覧室入口 図書委員のおすすめ! ~8月30日 天を読みとった学問 9月1日~9月27日	エントランスホール 苦小牧にも空襲があった ~8月30日
	一般書コーナー さあ オリンピックだ! ~8月30日 平和祈念旬間展示 ~8月19日 孫育て 育じい! 9月1日~9月27日	児童コーナー 自由研究・自由工作・読書感想文 夏休み期間中 平和の本 ~8月19日 こわい話 ~8月30日 作ろう紙工作 9月1日~9月27日

休館日の展示の公開はありません。
 行事・催し・展示については、変更・中止になる場合がございます。

中央図書館カレンダー

黒塗り白字になっている日は休館日です
 丸印がついている日は午前9時30分~午後5時開館
 印が付いていない日は午前9時30分~午後7時開館

2012年8月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	
	6	7	8	9	10	
	13	14	15	16	17	
	20	21	22	23	24	㉕
㉖	27	28	29	30	31	

8月の整理休館日は31日のみです

9月

日	月	火	水	木	金	土
	3	4	5	6	7	
	10	11	12	13	14	
		18	19	20	21	㉒
㉓	24	25	26	27	28	㉔
㉗						

22日 敬老の日(開館)

10月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	
		9	10	11	12	
	15	16	17	18	19	
㉑	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

8日 体育の日(開館)

22日~31日(休館)

蔵書点検・システム更新のため